

1 関東圏に向けた糸島のPR

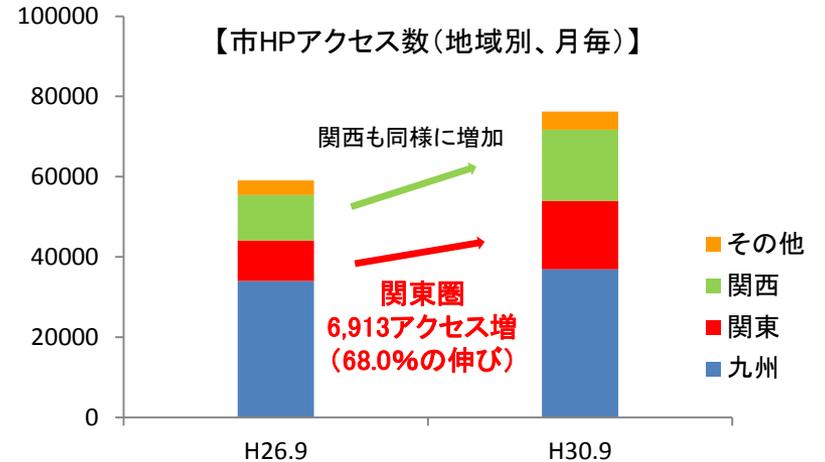
■シティプロモーションの“これまで”と“これから”

➤シティプロモーションの基本戦略

- ◎観光交流の強化
 - 今よりもさらに、人々が訪れたい場所をめざす
- ◎ライフスタイルの提供
 - 観光スポットの名所化ではなく「食」「スポーツ」「遊び」「学び」などの体験的な要素の組み合わせで“多様なライフスタイル”を提供

➤関東圏域向けの取組

- ◎首都圏に着目し、「東京事務所サービス」を開始
- ◎糸島の強みである豊富な食材をPR
- ◎糸島の存在・イメージを刷り込むイベントを開催
- ⇒食品バイヤーを中心に認知が浸透。「食」「自然」などの分かりやすい魅力が広く受け入れられてきた
- ⇒関東圏を中心にHPアクセス増。移住・定住の相談も増加



⇒自治体間競争で更なる差別化を図るため、次のステップへ
⇒物産展中心のPRから「暮らし」にフォーカスを当てた手法にシフト。糸島ファン（関係人口）を作っていく取組に力を入れる。

【取組例】糸島ファームtoテーブル事業

- ・糸島の生産者と関東圏のレストランをつなぐ取組
- ・関東のシェフに「糸島の語り部」となってもらい、糸島ファンを増やす。
- ①東京からシェフを呼び、生産者や豊富な食材を紹介
- ②農水産物の良さや背景をシェフにPR
- ③気に入った農水産物を関東の店舗に納入
- ④東京の店舗を宣伝拠点として活用(糸島メニュー開発、パンフ設置等)
- ⇒交流の場、糸島ファンづくりの拠点となり、ネットワークが形成されていく。



糸島市のシティプロモーション

2 「オープン糸島in大手町」 ～いいものイロイロ みる きく ふれる～

■首都圏への情報発信事業として「オープン糸島in大手町」を開催

◎日時：平成30年12月1日（土） 11時～17時

◎場所：TRAVEL HUB MIX（株式会社パソナ運営）

東京都千代田区大手町2-6-2 JOB HUB SQUARE 1階

◎内容：オープンキャンパスのように、糸島の魅力を伝えるため「みる」「きく」「ふれる」をテーマに、糸島での生活を疑似体験できるプログラムを展開。

『みる』…景観写真などの観光情報、映像から得る市のイメージ形成

『きく』…先輩移住者の経験談、観光・食（職）・移住などの個別相談

『ふれる』…ワークショップによるモノ作りやケータリングによる食提供

⇒移住希望者や旅行希望者をターゲットに、糸島の豊かな自然環境と生活が近接する「余暇のある暮らし」をPRすることで「糸島ファン」の裾野を広げ、観光や移住のための来訪を誘導する。



【主なイベント】

◆トークセッション

糸島市への移住者3人が、糸島での生活について本音で語りあう。

- ・ 大堂 良太さん（合同会社よかごつ）
- ・ 海上 愛さん（NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡）
- ・ 佐藤 倫子さん（一般社団法人ママトコロラボ）

◆糸島体験ワークショップ

糸島の素材を使ったワークショップを開催

- ①糸島みるくぷらんと「伊都物語」の牛乳を使ったバターづくり
- ②糸島の間伐材を使った箸づくり

◆糸島市公式ミニアンテナショップ出張販売、ケータリング

ミニアンテナショップ「メゾンデルリス三番町」による出張販売
糸島食材のケータリング



↑ パネリスト：大堂さん(左)海上さん(中)佐藤さん(右)

